

この後の展開例

先に紹介しました遊び方を工夫し、次のような展開方法(アレンジ)も考えられます。利用者の状態やプログラムを定期化することを考慮し、挑戦してみてください。

アレンジ

組み合わせに条件を加える。

3字以上の組み合わせに挑戦! ……絵札の組み合わせに難易度を加えたり、また、途中で絵札を追加するという条件を加えると、段階的なプログラムを構成できるでしょう。

- <進め方> ・最初に各グループに、12枚の絵札を配り、3字以上の単語をつくります。
・ゲームの中盤に各グループに絵札4枚ずつを追加します。
新たに絵札が加わることによってことばができる可能性が生まれるなど、ゲームの流れに変化が起こる可能性があります。

アレンジに進む場合には、完成したことばは壊さず、そのままにしておきます。

アレンジ

完成したことばを活用する。

文章作りに挑戦! ……ことばをつなぎ、オリジナルの文章をつくる面白さを味わいます。

ことばの配置を考え、ことばをつなぐための文字(接続詞)など考えるという条件を加えることで、より難易度の高いプログラムへと発展させることが可能です。

- <用意> アレンジで完成したことばを使います。
絵札サイズの白紙30枚程度とペン6本を用意。(各グループに白紙10枚程度、ペン2本)

- <進め方> ・ことばをつなぐ際の動詞、形容詞、助詞、接続詞などを配られた白紙に記入していきます。
*グループ内で、<からす><あおそら><とんた>の3つの単語ができている場合には、まずメンバーでいろいろな組み合わせ方を考えてみましょう。
そして<あおそら>に<からす>が<とんた>(=青空にからすが飛んだ)というように文ができたら、各グループに配ってある絵札サイズの白紙に、絵札以外の文字を書いて、文章を完成させるわけです。」

制限時間を10分間にします。

例:「さあ、今度はみなさんが頑張って完成させたことばをつないで文章をつくってもらいます。ことばをつなぐ時に、<が>や<きれいな>また、<飛んだ>などのことばが必要であれば自由に使ってかまいません。」